

>環境ツーリズム学部

- 環境分野
- 観光分野
- 地域づくり分野

カリキュラム

カリキュラムポリシー		1年次		2年次		3年次		4年次	
01	人格形成の基礎としての確かな教養と良識を育む 地域社会の問題を発見・解決するための十分な教養と良識	教養科目	論理と思考	●線形代数学 ●微分積分学 ●科学リテラシー ●哲学 ●経済学	●哲学概論				
			地域と世界	●政治学概論 ●信州上田学 ●地誌 ●信州学 ●地球環境論	●地域協働活動I	●グローバル・ビジネス論	●地域協働活動II		
			歴史と未来	●地理学 ●西洋史 ●東洋史 ●日本史 ●歴史の見方	●東洋史概論 ●西洋史概論 ●日本史概論				
			身体と感性	●スポーツ実技I ●倫理学 ●メディア芸術論 ●身体パフォーマンスI	●倫理学概論	●身体パフォーマンスII			
			外国語	●英語または中国語		●英語・中国語またはドイツ語・韓国語			
			導入科目	●アカデミックライティング ●コンピュータ基礎 ●課題探求ゼミナールI ●課題探求ゼミナールII					
02	体験型学習と地域協働型学習 地域をフィールドとする体験型の学び+地域住民との協働による解決に向けた学び				●専門ゼミナールI	●専門ゼミナールII		●卒業研究ゼミナール	
03	職業観養成 問題解決ができる職業人となるために必要な能力を身につける	職業観養成科目	●職業選択と生き方		●キャリアデザイン論 ●若者と労働 ●情報と職業	●インターンシップI		●インターンシップII	
04	多様な分野の専門的な知識と技能を結びつける 環境・観光・地域づくりの3領域の専門科目の横断的な学び 地域における各種フィールドワークを通じた学び	専門科目	専門基礎科目	●地域社会学 ●観光概論 ●地域環境概論 ●観光社会学 ●国際社会学	●まちづくりの政治学 ●まちづくりの社会学 ●地理学概論 ●経済学概論	専門展開科目 観光専門 ●観光文化論 ●観光地理学 ●観光政策論 ●持続可能なツーリズム ●観光と地域ビジネス 環境専門 ●持続可能性科学 ●環境経済学 ●環境政策論 ●環境マネジメント論 ●自然調査演習	●地域交通論 ●観光まちづくり事業論 ●観光まちづくり演習 ●観光まちづくり計画論 ●観光特別講義A ●自然エネルギー論 ●エコキャンパス論 ●環境教育論 ●里山再生論 ●保全生態学		
			専門基幹科目	地域マネジメント ●地産地消論 ●地域政策と地域づくり	●男女共生の地域づくり ●地方自治論 ●地方財政論 ●行政学 ●非営利事業論 ●まちづくりマネジメント論				
			社会調査	●社会調査論	●統計学 ●統計解析法 ●社会調査法 ●社会統計法			●地域調査演習	

※上記カリキュラムは2023年度の授業科目を抜粋して掲載しています。 ※カリキュラムは変更になる場合があります。詳細は本学ホームページでご確認ください。

教員・専門分野

氏名	専門分野	氏名	専門分野	氏名	専門分野
相川 陽一	●中山間地域の活性化 ●農山村移住	古平 浩	●地域政策学 ●地方鉄道・伝統産業	松下 重雄	●まちづくりNPO ●パートナーシップ(地域住民、企業、行政)
青木 萌	●言語学 ●中国語教育	高橋 一秋	●森林生態学 ●環境教育	丸山 文隆	●ハイデッガーの哲学 ●現代倫理学
奥田 純子	●労働経済学 ●地域間移動	塚瀬 進	●中国近現代史 ●近現代日中関係史	満尾 世志人	●水域生態学
久保木 匡介	●公共サービス ●住民参加	羽田 司	●地理学 ●イノベーションの普及	横関 隆登	●観光学 ●造園学
熊谷 圭介	●景観まちづくり ●観光・リゾート計画学	古田 睦美	●男女共同参画 ●地産地消		

ピックアップカリキュラム

- PICK UP 1

地域社会学

「暮らしの場としての地域社会」を起点に、地域社会学の基礎理論と基礎概念を学ぶ。日本の地域社会の歴史と現状を捉え、研究等の紹介を通して地域社会学の領域で行われる調査研究のあり方を理解する。
- PICK UP 3

まちづくりマネジメント論

まちづくりの事例検討を通して、地域協働のまちづくりの実践的手法とその意義を学ぶ。地域住民・企業・行政の協働により、複雑な地域課題の解決に取り組む活動のあり方を考える。
- PICK UP 2

観光まちづくり事業論

観光事業・中心市街地活性化事業・市民協働まちづくり事業等のビジネスモデルを、座学と事業現場のフィールドワークにより実践的に学ぶ。地域課題を解決し、地域特性を生かす観光ビジネスや関連産業の発展のあり方を考える。
- PICK UP 4

環境マネジメント論

地球環境問題がその深刻さと複雑さを増すなか、環境保全はどのようにして実現可能性を高めることが出来るのか、多くの事例やフィールドワークをもとに生態系と人間社会の相互作用の観点から議論を深める。



環境マネジメント論